

## 〈巻頭言〉

# 世界の終わりのものがたり

日比野 典明

---

「SEKAI NO OWARI」についてではありません。2012年に日本科学未来館で開催された企画展についてです。当館所蔵図書『異常気象と人類の選択』（気象学者 江守正多著）の中に記載があり、また日本科学未来館のHP等によると、73の問いを通じて来場者に考えてもらおうといった風変わりな企画であったようです。

「百年後の未来へとつなげたいものはなんですか？」

「あなたではない誰かの未来を本気で考えることはありますか？」

「変化と多様にみちた世界のなかで、あなたが残したいものはなんですか？」

2011年3月11日の東日本大震災1年後の企画ですが、「3.11」前から企画されていたものを見直した中で行われたとのこと。

そのおよそ10年後、全世界で新型コロナウイルス感染症が大流行し、全世界では500万人、日本では1万8,000人を超える方々が亡くなっており（2021年10月末時点）、東日本大震災の死者数を上回っています。心からお悔やみを申し上げます。

このコロナ禍の真ただ中、2021年8月、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が発行した第6次評価報告書は「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。」「気候システム全般にわたる最近の変化の規模と、気候システムの側面の現在の状態は、何世紀も何千年の間、前例のなかったものである。」と断定しました。先に紹介した江守氏によれば、最悪のシナリオとし、2100年の海面上昇は1.7m、2300年の上昇量は西南極氷床の不安定化が起きた場合には15mにも達する（日経 ESG 2021年11月号）と述べています。

このような状況の中、もう一度先ほどの問いを真剣に考えてみませんか。「百年後には私もあなたも生きていないし」とは言わずに。

「世界の終わりのものがたり」HPの展示概要にその趣旨として、「「終わり」を知ったうえで、それでも続いていく“生”への希望を見出していく。この展覧会で、「終わり」から始まる新たな希望のものがたりが生まれることを願っています。」とありました。

あなたにとって、百年後の未来へとつなげたいもの、自分ではない誰かの未来、変化と多様にみちた世界のなかで、残したいものは何でしょうか？そのために今しなければならぬことは何でしょうか。そのようなことを考えながらこの「ものづくり文化」を読んでいただきたいと思います。そして、関心をお持ちになった方はぜひ「ケンカワ」で専門的な図書や雑誌などを手にとって見て下さい。

ケンカワが、「終わり」を知ることや、「終わり」から始まる新たな希望のものがたりを探すための入口になれば幸いです。

---

ひびの・のりあき  
(神奈川県立川崎図書館長)